

Mainstream ~ 技術注力領域

Mainstream フェーズの技術注力領域を Cloud, ADM, Cyber Security, D&I, EAS と定め、成長領域にフォーカスしビジネス拡大を狙っていく。

Mainstream フェーズの技術注力領域

技術成熟度が高いデジタル技術を起点とした市場が形成されている。当社に強みがあり、かつ市場規模が大きく、グローバルで高い市場成長率が見込まれる領域を当社グループ全体で選定し、技術注力領域として設定している。

① Cloud 領域

多様なクラウドサービスを活用したシステム開発

② ADM (Application Development and Management) 領域

デジタル技術を活用したアジリティの高いシステム開発、及び更なる生産性の追求

③ Cyber Security 領域

従来の境界型の防御でなく、「何も信用しない」ゼロトラストの考え

方に基づくセキュリティサービスに注力

④ D&I (Data & Intelligence) 領域

AI を利用したデータ分析、データ活用により新たなビジネス価値を創出

⑤ EAS (Enterprise Application Service) 領域

協力ベンダとのアライアンス活動が中心であり、技術革新統括本部の活動対象外のため本特集では取り扱わない

「世界一の技術力」に向けた Horizontal ビジネスの強化

Mainstream フェーズを担うシステム技術本部では、次の3つの方針で成長領域のビジネス拡大と、Global トップ企業に資する技術リーダーポジションの獲得をめざしていく。

方針①グローバル戦略統一



株式会社 NTT データ
技術革新統括本部
システム技術本部長
喜多 淳一郎氏

方針②テクノロジーアセット開発

方針③デリバリ拡大

成長領域にフォーカスし、差別化ポイントとなる武器づくり、スケールに向けてグローバルでの体制・仕組みづくりを実施する。グローバル共通で特定の業界に依存しないテクノロジーアセットの開発とそのグローバル展開、デリバリを加速させ、市場シェアの拡大をねらう。

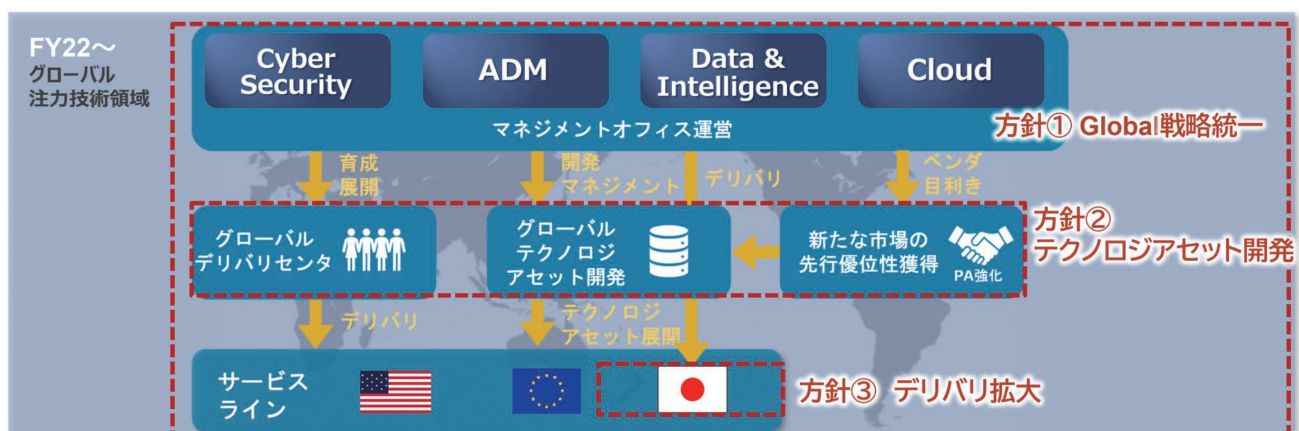


図3 Mainstream 技術注力領域 方針